

毎週日曜発行
2020 6/7

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

③

仙台市天文台長の土佐誠さんは、子どものころの体験が人生を決定づけてきました。どんな出来事、出会いがあったのかな？

第2次世界大戦中に東京都で生まれ、すぐに埼玉県に疎開しました。自然が豊かな里山で育ち、虫や草花を採ったり、雲や月をながめたりしたことが最も古い記憶です。父は写真館を経営していました。写真館は戦争で焼けてしまいました。家にはいろいろなカメラ

きょうのテーマ

土佐 誠さん(75歳・仙台市天文台長)



中学では友人と学校に泊まってペルセウス座流星群を観測しました。いつの間にか、好きな女の子の話になりましたが…。

ラがありました。小学生になると、カメラを分解して機械やレンズの仕組みを見るのが趣味でした。父がカメラの手入れをする様子を観察

望遠鏡を自作 宇宙身近に

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

とさ・まこと 東京都出身。東北大学院理学研究科修士(しゆりょう)。東北大理学部教授(きよつじゆ)、日本天文学会理事長を務(つと)めた。2008年から仙台市天文台長。

して、戻し忘れたねじの場所を教えたことがありました。私が分解し過ぎて、父が元に戻すのに苦労したことも。



高学年の時、レンズを組み合わせて望遠鏡を作りました。初めてレンズ越しに月のクレイターを見て、宇宙を身近に感じたことを覚えています。わくわくしたなあ。

私(まこと)が子どものころは街に軍服を着た兵士がいたり、頭上を爆撃機が飛びだりしていました。無意識(むいし)のうちに戦争をしてはいけないと考えていた気がします。みなさんには家族や友人に誠実(せいじつ)で、平和を愛する人になってほしいと思います。



学の学会を見学しました。目立っていたのでしようね。話し掛けてきた人がいました。全身黒ずくめのあやしげな第一印象でしたが、仙台市天文台2代目台長の今は亡き小坂由須人(おさかゆす)さんでした。小坂さんに誘われて夏休みに、当時は仙台市青葉区(あはば)の西公園にあった旧仙台市天文台を訪問(ほうもん)しました。国産で最大級の望遠鏡を使わせてもらうためです。居合わせた東北大の研究者を見て、科学者になりたいという思いを強めました。

今週の注目ニュース

◇6月13日(土) はやぶさの日
2010年のこの日、小惑星「イトカワ」へ向かった探査機はやぶさが7年ぶりに地球に戻ったんだ。偉業(おおふね)をたたえ、12年に宇宙関連施設がある大船渡市や能代市などでつくる「銀河連邦」が記念日に決めたよ。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 会える日を楽しみに
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー